

利府中

熱気たっぷり エコ活動も



これがイチオシ

朝のあいさつ・ごみ拾い

利府中学校では毎月1日と15日にあいさつ運動、第2・4水曜日におはくり(おはようクリーンウォーキング)を行っています。

あいさつ運動は「あいさつは、相手の目を見て、心で届けよう」のスローガンのもと、昇降口前と校門前に立ち、元気にあいさつをしています。

おはくりでは、朝の7時40分からJR利府駅方面や利府小学校方面、リフノスの周りなどのごみ拾いをしています。おはくりは利府中生や先生方がボランティアとして参加しています。

学校名 利府町立利府中学校
所在地 利府町森郷古戸6
創立 1947年
電話 022(356)2116
校長 熊谷 正広
生徒 468人

利府中学校は、利府町内で最も長い歴史があり、生徒数が最も多い学校です。生徒と先生の距離が近く、楽しい学校生活を過ごしています。

利府中では体育祭、合唱コンクール、3年生を送る会の「利府中三大行事」があります。その中の一つ、体育祭は昨年度、赤組、青組、緑組、黄組、紫組の五つのカラー団対抗で行いました。体育祭が近くなると、学級旗を制作します。学級で話し合い、カラー団の色に沿ったデザインを考え、作ります。

体育祭で心を一つにする生徒たち。声援に熱がこもる(右上)、学級旗作りに取り組み(右下)、競技(きょうぎ)での健闘(けんとう)を誓(ちか)う(左上)。カラー団対抗エコキャップの回収箱(左下)



編集委員 安藤晴喜、古住穂空、渡辺一成、柴田颯空、大内康右、今野幹太、阿部笑栄(3年)今野菜々子、小野寺飛海、菊地紅鴉、渋谷晴琉(2年)
指導教員 笠松瞳、狩野彩

カラー団対抗の体育祭

本番は学年別の種目や、カラー団の応援合戦など、学級、カラー団が一丸となつて各種目で熱戦を繰り広げるため、体育祭の期間は利府中全体が熱気に包まれます。

体育祭で培った絆は普段の学校生活の中で生かされています。一例として、利府中ではカラー団対抗でペットボトルのエコキャップの回収を行っています。カラー団対抗で回収してから、エコキャップの回収量が大幅に増えました。これからも続けていきたいと思っています。

わが校わがまち スクール通信



次回は 新田小(登米市) 高森中(仙台市)

下学年を思い楽しく出店

古川四小



これがイチオシ

ミニ図書室 あちこちに

古川第四小学校には、小さな図書室のような「ここ読コーナー」と呼ばれる場所が何カ所もあります。椅子や畳に座って本を読むことができ、全学年から人気です。理由は、いろいろな場所にあり、くつろぎながら本を読めることや、本を通して友達との仲も深まることです。

毎月本が変わるので、全校児童が楽しみに待っています。ここ読コーナーを通して本への興味が深まっているので、これからも本に関心をもつ人を増やしていきたいです。

学校名 大崎市立古川第四小学校
所在地 大崎市古川大宮8の2の1
創立 1990年
電話 0229(23)8006
校長 門伝 久徳
児童 755人

ほほえみまつりで交流

古川第四小学校は毎年11月に「ほほえみまつり」を行い、児童同士が交流を深めます。上学年はお店を出し、下学年はお店で遊びます。

4年前までは感染症の影響がなかったため、下学年は自由に各クラスを回って遊んでいました。現在は1年生は6年生のお店、2年生は5年生のお店、3年生は4年生のお店で遊びます。下学年は児童で決めたルールを守りながら遊びます。3年生は来年お店を出すため、上学年の様子を観察しながら楽しんでいました。

4年前までは感染症の影響がなかったため、下学年は自由に各クラスを回って遊んでいました。現在は1年生は6年生のお店、2年生は5年生のお店、3年生は4年生のお店で遊びます。下学年は児童で決めたルールを守りながら遊びます。3年生は来年お店を出すため、上学年の様子を観察しながら楽しんでいました。

でいきました。下学年の児童がボックスに入っているものを当てて喜ぶ顔を想像し、ブラックボックスのお店を開いているクラスや、下学年向けの音楽を準備して楽しんでもらうとイントロクイズのお店を開いているクラスなど工夫がふれお祭りとなりました。まつりが終わると、下学年は「楽しかった」「ありがとう」などとメッセージにして渡してくれました。私たち上学年はそれを見て、うれしい気持ち、やってよかったという気持ちになりました。



ブラックボックスを楽しむ子どもたち

編集委員 齋藤優衣、佐藤来華、白幡莉乃(3月卒業、中学1年) 中山和翔、稲葉理乃、千葉優愛(6年)
指導教員 小田島彩楓